

平成29年11月10日

各位

会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
代表者名 代表取締役 真鍋 吉久
(コード: 6466、東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 飯田 明彦
(TEL. 06-6416-1150)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成29年11月10日開催の取締役会において、以下のとおり、平成29年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成28年11月10日公表)	前期実績 (平成28年9月期)
基準日	平成29年9月30日	平成29年9月30日	平成28年9月30日
1株当たり 配当金	15円00銭	－(未定)	15円00銭
配当金総額	34百万円	－	34百万円
効力発生日	平成29年12月25日	－	平成28年12月26日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

2. 理由

当社の利益配分は、過去の持株会社体制によって培われたグループ経営の手法を活かし、経営資源の最適配分による効率的な活用で最大限の利益を生み出し、安定した配当を実施することを基本方針としており、株主様に長期・安定的に株式を保有いただけるような配当政策を実施しております。

当期の連結業績は、前期に比して売上は減収、利益は横ばいとなりましたが、原発の定期検査工事売上計上等で採算性が改善するなどした結果、3期連続の黒字とすることができました。

しかし経営環境そのものは依然、原子力・火力発電ともに不確実性を有し、来期の業績想定は、売上高78億5千万円、営業利益5千万円に留まっています。まだまだ多くの不確定要因が潜在し、その達成も決して楽観視できない状況であることから、到底、継続的且つ安定性の高い経営環境が整ったとは言い難い状況です。

引き続き、攻めの営業活動で収益拡大を目指すとともに、株式会社キッツとの業務提携を重要施策として推進することで、業容拡大と業績の安定化に全力で取り組んでまいります。

ついでに配当方針に基づき、これら状況・背景を勘案し検討した結果、当期末の普通配当は1株あたり15円とさせていただきます。中間配当15円を本年6月に実施いたしましたので、年間配当金は1株あたり30円となります。係る結論に至った背景・状況については上述の通りでございますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上